

Q 国見小・県北中生徒の学力レベルは

A おおむね国・県の平均、あるいは平均を上回っている



佐藤定男議員

問 テストの結果について過去3年間の実績を問う。

教育長 小学校では26年度の国語B、27年度の算数Bで全国平均を若干下回ったが、それ以外はおおむね県平均以上、全国平均と同等かそれ以上である。県のテストでは27年度の理科で県平均を若干下回ったが、それ以外の教科は県平均以上である。

問 中学校は27年度に全国平均を若干下回ったが、それ以外は全国平均と同程度ないし平均を上回っている。県のテストでは若干の変動はあるものの県平均より少し上回っている。

教育長 傾向と同じだが算数・数学の安定した学力の向上が課題だ。また活用をみるB問題の正答率をさらに向上させたい。

問 テストの結果を踏まえ、今後の課題は何か。

教育長 県全体の傾向と同じだが算数・数学の安定した学力の向上が課題だ。また活用をみるB問題の正答率をさらに向上させたい。

問 学力テストは国・県がそれぞれ実施している。対象学年と科目、実施時期について伺う。

次長 国の全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生で毎年4月に実施される。実施教科は小学校が国語、算数、英語である。

問 中学校は国語、数学でいずれの教科もA問題（知識）とB問題（活用）がある。県の学力調査は小学5年生と中学2年生で11月に実施される。教科は小学校が国語、算数、理科、中学校が国語、数学、理科、英語である。

問 平成24年4月、各小学校が統合されて国見小学校となった。統合により学力の面で成果はみられるか。

教育長 成果は現れている。特に算数Bについて

教育長 文化系は吹奏楽部と美術部の2つである。体育系は野球部、男子と女子のチームがバスケットボール部、ソフトテニス部、バレーボール部、卓球部である。剣道部と柔道部は男女から成り立っている。さらに



町の活動も生徒たちの音楽でより華やかに(吹奏楽部デイサービス演奏会)

特設陸上部と特設駅伝部を加え合計15部ある。原則として全員が何らかの部に所属している。

問 文化系の部が2つとは驚いている。減少となった理由は何か。

教育長 部活の教員数が密接に結びついている。学級数が少なくなければ配属される教員も減らされる。できるだけ生徒の多様な希望には応えたいが現状が精一杯である。

Q 「女性活躍フォーラム」開催について

A 民間とも協力し道の駅での開催を考えている

問 町長は女性の働きやすい環境づくりや能力を高く評価されており、在住女性の活躍もすばらしく、着眼・企画・実行力で国見の名を全国に発信している。道の駅ランドオープン記念イベントとして、町長を

町長 町の活性化や維持発展には道の駅の整備が大きな起爆剤になると考えており、女性の感性が非常に重要になってくると思う。女性活躍フォーラムは私も道の駅でやりたいと考えていた。ただ、行政だけではなかなか難しいところも出てくるので、民間の方々にもご支援いただき、継続できるスタイルで進めていきたい。

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

問 早期発見の視点から、毎年受診は可能か。

問 毎年が難しいのなら、5か月の検診期間中に、ももたんFMなどを利用して多くの方に呼びかけ、自分の身体は自分で守るよう周知をお願いしたい。

町長 受診率アップは重要な課題である。受診者の裾野を広げ、がん撲滅につなげたい。先ほどの女性活躍フォーラムで議論の1つとするなど、検診を女性活躍のペースにして、そこから発展があるという意識づけも必要だと思う。町を挙げて普及啓発に対応していきたい。

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

町長 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は



松浦和子議員

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は

問 全国的に女性のがん発症率が高くなり、発症年齢が下がってきている。町が国の指針に基づき実施している、子宮頸がん検診受診率は



町政に関心を持つ女性も増えました(議会傍聴)